

令和7年度 LMO 千田イレブン事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・インスタグラムを開設し、積極的に情報発信を行うことで地域での認知度を高めることができた。
・地域課題のうち、一番深刻な住民間のコミュニケーション不足を解決するため、千田ふれあいとんどを開催し、新たなにぎわいづくりの場を創出することができた。

1 事業名	千田ふれあいとんど	(4)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 1 月 11 日 ~ 令和 8 年 1 月 11 日	
(2) 実施場所	千田公園グラウンド	
(3) 参加者数	1,500 人	
(4) 主催団体	団体名 千田ふれあいとんど実行委員会	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
若い世代を中心に住民が協力して「やぐら」を組み立て、正月飾り・しめ縄・書初めなどの縁起物を燃やし、地域住民の五穀豊穡・商売繁盛・無病息災を祈願した。 また、消防団の実技披露、太鼓演奏、各団体によるバザー、大声コンテスト、お菓子まきなどの催しも併せて開催し、地域のふれあいや世代間交流を図る場となった。		
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 千田地区において、この度のとんどは第 37 回目の実施となった。地域で大切にされてきた伝統行事を継承するとともに、LMOの設立を機にLMO千田イレブンの特別協賛により実施することで、地区内の住民に広く周知し、地域内のつながりや世代間交流を促進することができた。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域に住む多世代の住民が、とんどの炎に暖まりながら無病息災を願う伝統行事や、その他の催しを楽しむことで、地域への愛着（帰属意識）が深まり、コミュニティ意識が高まった。 また、やぐらの材料の調達や組み立てを、千田地区の父親達や、小学校の卒業生などと協力して完成させることで、世代間交流を通じた次世代の担い手の育成に繋げることができた。		

1 事業名	千田学区防災訓練	(4)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 2 月 8 日 ~ 令和 8 年 2 月 8 日	
(2) 実施場所	千田小学校	
(3) 参加者数	350 人	
(4) 主催団体	団体名 LMO千田イレブン、千田地区自主防災会	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
地震や水害などの災害発生を想定した訓練（避難訓練、避難所開設訓練、炊き出し訓練等）を行った。また、訓練に併せて、防災講演会やブース体験なども実施し、学区に居住する多くの住民に参加してもらうことができた。		
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 千田地区では、平成 27 年に学区全体で防災訓練を実施した。近年頻発する豪雨災害や、南海トラフ地震の発生確率が上がっているなか、継続的に訓練を実施することが必要である。この度、災害発生後を想定し、小学校で防災訓練を行うことで、住民一人ひとりの防災意識を高めるとともに、災害に備え、地域で協力し合える体制づくり（共助の推進）を目指し、地域防災力の向上を図った。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 実際の訓練を通じ、いざという時の行動力を身につけることができるほか、地域全体で災害に備える意識が高まり、平時からのつながりを持つきっかけになった。 また、各団体の役割が明確になることで、地域の連帯体制が強化された。		

1 事業名	春季グラウンドゴルフ大会	(4)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 2 月 22 日 ~ 令和 8 年 2 月 22 日	
(2) 実施場所	千田公園グラウンド	
(3) 参加者数	96 人	
(4) 主催団体	団体名 LMO千田イレブン、千田学区体育協会	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
誰でも気軽に楽しめるニュースポーツ「グラウンドゴルフ」の大会を千田公園で開催し、高齢者を中心に学区内で広く参加を募り、健康づくりとにぎわい創出を図った。		
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 千田学区体育協会では、年2回グラウンドゴルフ大会を開催している。この度、LMO千田イレブンの共催とすることで、学区内の高齢者に広く大会への参加を呼びかけ、地域ぐるみで健康増進を図り、世代間交流を促進することができた。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 学区内には、一人暮らしの高齢者や、引きこもりがちな高齢者も増えている。そういった住民にも参加を呼びかけることで、大会を通じて参加者同士がつながり、交流が深まった。		

1 事業名	情報発信・広報	(4)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	千田学区内	
(3) 参加者数	_____ 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名_____ LMO千田イレブン	
4 取組内容	（具体的に記入してください。） 千田学区全体の情報を発信するホームページを作成するほか、多世代に行き渡るよう、公式LINE、InstagramなどのSNSも導入し、随時事務局で発信していく準備を行った。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 千田地区の地域のイベントやお知らせを発信するホームページがないため、LMO設立を機に、学区全体に地域の幅広い情報を行き届かせる。また、子育て世代など若い住民の人口が増加している地区であり、SNS等のツールも併用し、幅広い世代に向けた広報の強化ができた。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） Instagramアカウントの開設により、認知度アップのほか、地域の行事やイベント、災害に関する情報、各団体の概要などを体系的に知ることができ、これまで地域活動に参加したことのない住民の行事参加や活動従事の可能性を拡げることができた。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容